今年も実施します　　川教組障害児教育部と共催

多様な進路を考える　**進路学習会**

日　時　２０２３年１２月１７日（日）１３時３０分～１６時３０分　（受付１３時～）
会　場　川崎市生涯学習プラザ・３０１会議室　（川崎市中原区今井南町２８－４１）
内　容
○　市内中学校支援学級卒業生の進路状況報告
　　総合教育センター特別支援教育センター　室　長　　伊藤　琢也　氏
○　神奈川県立高等学校でのインクルーシブ教育の現状
　　県教育委員会インクルーシブ教育推進課　指導主事　赤田　佑貴　氏
○　進路を選択するにあたってのアドバイス
　　川崎市発達相談支援センター　所　長　　阿佐野　智昭　氏
○　わたしの進路選択　当事者からの体験報告
　　八州学園大学　学　生　　長田　はるな　氏
○　報告者の皆さんに参加者からの質問にお答えいただきます。

参加申込　中学校卒業後、特別支援学校以外の進路選びを考えていらっしゃる方々、進路相談に悩まれている先生やご家族、放課後の支援者、進路に関心のある方、どなたでもどうぞご参加ください。会場は72名定員です。必ず事前の申込をお願いします。
右のQRコードを読み取り必要事項を記入、わになろう会へ送信してください。
お名前、連絡先（メールアドレスか電話番号）、ご家族の場合お子様の学年を記入して、ファックスでお送りくださっても結構です。

わになろう会がＮＰＯ法人の認可を申請し、法人として歩み始めたばかりの頃は、法人化以前からの活動を引き継ぎ、進路に関する学習会は年間下記の３回を実施していました。

Ⅰ，養護学校を知る会
Ⅱ．高校問題懇談会
Ⅲ．北部養護学校を考える会

北部養護学校を考える会は、市の北西部に新しい養護学校を新設してほしいと1986年に活動を始めて以来多いときは年に２回麻生小学校をお借りして話し合いを続けてきましたが、2006年に麻生養護学校（現・支援学校）が開校し、目的が達成されたことにより終了しました。

養護学校（支援学校）を知る会は、学校の過密・過大化をどう解消するかという課題と市内の子どもたちが通う７校（県立４校：麻生・高津・中原・鶴見と市立２校：中央・田島）の内容紹介を兼ねて継続して実施してきました。しかし、支援学校への入学指定地域がはっきり示されるようになり、選んで行くことができないなら説明を聞いても仕方がないという意見も聞かれるようになりました。合わせて新型コロナウイルスの蔓延で集まることが難しくなった事情も重なり、支援校については各学校で毎年実施される説明会に参加してもらえば、あえて学習会を行う必要はない、との判断で2020年以降中止することにしました。

残るは支援校高等部以外の高等学校、サポート校など、この２０年に様々に多様化した中学校卒業後の進路について紹介する学習会だけになりました。

神奈川県が近年力を入れている県立高校でのインクルーシブ教育の現状に関心をもたれる参加者が増えています。

また、ご自身の体験をつらかった頃のことも含めて語ってくださる高校生や大学生の進路選びの報告は他ではなかなか聞くことができない貴重なお話です。今年は通信制大学３年生の長田（おさだ）さんが引き受けてくださいました。すでに、報告の準備を着々と進めてくださっています。ご期待ください。